

マーケットの動き（2023年9月18日～9月22日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

9月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）において市場予想通り政策金利を据え置いた一方、年内の追加利上げを示唆したほか、2024年末の政策金利見通しが前回から0.5%引き上げられたことなどから、米国の金融引き締め長期化に対する警戒感が強まり米国債券は売られました。

欧州国債市場は、8月英国CPI（消費者物価指数）の伸び率鈍化を受けBOE（英国中央銀行）が政策金利を据え置いたことから、英国金利は低下しました（債券価格は上昇）。

投資環境見通し（2023年9月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともに低下

米国：堅調な景気動向を背景にFRB（米国連邦準備制度理事会）が金融引き締め姿勢を続けるとの見方が長期金利の上昇圧力として残りますが、すでに大幅に上昇した反動に加え、インフレ鈍化を背景に長期金利は低下するとみています。

欧州：根強いインフレ圧力を背景にECB（欧州中央銀行）が金融引き締め姿勢を継続するとみられますが、軟調な域内景気動向が続く中、中国景気に対する不安もあり、ドイツ長期金利は低下するとみています。

	9月22日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.43	0.10	0.11	0.94	0.74
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	545.81	▲0.36%	0.46%	7.76%	6.05%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

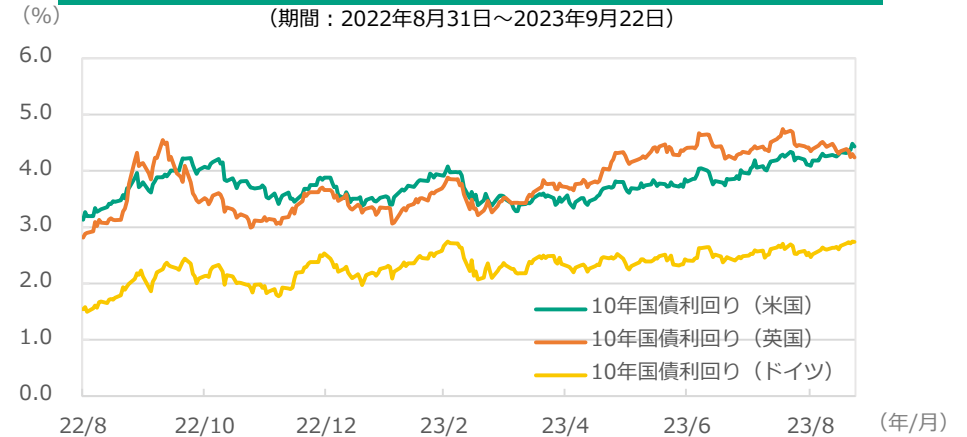
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202309_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移

（期間：2022年8月31日～2023年9月22日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2022年8月31日～2023年9月22日）



※2022年8月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成